

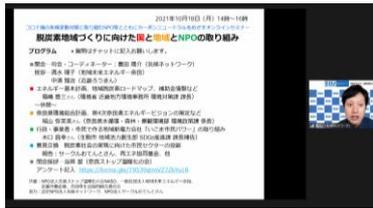
「NPOパートナーシップ制度」2021年度の取組み

2021年度は、「コロナ禍の課題に対応するNPOへの支援活動」を主なテーマとし、近畿2府4県のNPO支援センターと連携して取組みを進めました。また、「居場所づくりへの支援活動」や「防災・減災の取組み」も、継続して行いました。

2021年度の取組みは以下のとおりです。(のべ747名参加)

支援センター	開催日	取組み	内容	参加人数
しがNPOセンター	6/21	災害に備えてBCPをつくってみよう(災害支援市民ネットワークしが)【研究会】	災害時の福祉施設の事業継続をBCPを通して考える。	16
	8/26	災害ボラセン運営にNPOはどうかかわるのか(災害支援市民ネットワークしが)【研究会】	コロナ禍における災害ボラセンへのNPOのかかわり方を考える。	19
	10/28	法律家から見た被災者支援(災害支援市民ネットワークしが)【研究会】(オンライン)	被災者支援の現状と課題を法律面から考える。	11
	12/10	新たな災害ボラセンの運営方法(災害支援市民ネットワークしが)【研究会】	コロナ禍における効果的な災害ボラセン運営を考える。	22
奈良ストップ温暖化の会	10/18	気候危機とコロナ危機における再生可能エネルギー普及①【セミナー】(オンライン)	コロナ禍の気候変動対策と2050年の脱炭素社会への道筋を考える。	51
	1/25	気候危機とコロナ危機における再生可能エネルギー普及②【セミナー】(オンライン)	コロナ禍の気候変動対策と再エネ普及促進の取組みを考える。	40
きょうとNPOセンター	10/9	コロナ禍の「子供たちへの食支援活動」の課題【シンポジウム】(オンライン)	コロナ禍の子供たちの生活事情を知り、課題と解決方法を考える。	43
	10/16	発災後の役割と連携を考える【セミナー】(オンライン)	災害支援ネットワークおかやまの事例から、発災後の役割と連携を考える	54
大阪ボランティア協会	7/27	災害に備え、平時から必要な活動を考える(おおさか災害支援ネットワーク)【学習会】(オンライン)	「要配慮者」、「災害ボラセン」、「技術系プロボノ」、「情報共有」などの専門部会による分科会	70
	1/25	コロナ禍での災害時広域ネットワークのあり方(おおさか災害支援ネットワーク)【学習会】(オンライン)	熱海の土石流、佐賀での大雨災害の事例からコロナ禍での災害時の広域ネットワークのあり方を考える。	61
わかやまNPOセンター	12/12	コロナ禍と「誰一人取り残さない」社会づくり【シンポジウム】(オンライン)	コロナ禍での弱者支援の必要性を臨床心理士の立場から考える	26
	1/22	みんなで考えよう!ソーシャルアクション【意見交換会】(オンライン)	こども食堂や自死予防、困窮者支援など、私たちができるソーシャルアクションを考える。	11
シンフォニー	9/4	コロナ禍の障がい者支援の今【セミナー】	コロナ禍における障がい者の現状と求められる支援を考える。	27

	10/16	STOP！THE 介護離職 高齢者の居場所づくり【セミナー】	介護者と共に助け合える地域に向けた居場所づくりを考える。	27
	11/13	地域活動におけるSDGsの実践【セミナー】	地域の居場所活動（子ども・高齢者・外国人）からコロナ禍の課題と連携を考える。	22
CS 神戸	8/22	居場所サミットin神戸【セミナー】（オンライン）	アフターコロナ時代に必要とされる居場所活動を考える。	153
合同 セミナー	2/11	with コロナの社会における市民活動の役割を考える【セミナー】（オンライン）	コロナ禍による社会環境の変化を受けて、これからのNPOの役割を考える。	94



気候危機とコロナ危機における
再生可能エネルギーの普及①
(奈良ストップ温暖化の会)



コロナ禍と「誰一人取り残さない」
社会づくり
(わかやまNPOセンター)



「with コロナの社会における
市民活動の役割を考える」
(合同セミナー)

以上